

時間割コード	G1D11614	開講年度	2026			
授業題目	プラクティカル・イングリッシュ（初級）				担当教員	宮崎 ひろ美
英文授業名	Practical English					
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生
講義室	共通教育 4 6 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学DP					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	Practical English Iに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験において求められるスキル（語彙力・文法力・リスニングスキル・リーディングスキル）の習熟にもつながる。					
(5)授業のキーワード	Practical English		Listening Skill		Reading Skill	
(6)授業計画	第1回 ガイダンス, Intro Unit (Learning through Inspiring Stories) 第2回 Unit 1 (Promoting Diversity and Inclusion in Travel) 第3回 小テスト , Unit 2 (Living Creatively in a Community) 第4回 小テスト , Unit 3 (Connecting People through Humor) 第5回 小テスト , Unit 4 (Building Relationships through Importing) 第6回 TOEICの戦略と対策 第7回 小テスト , Unit 5 (Making the Jump Into Freelancing) 第8回 小テスト , Unit 6 (Creating Education that Works for Everyone) 第9回 小テスト , Unit 7 (Listening to Your Inner Artist) 第10回 小テスト , Unit 8 (Communicating across Cultures) 第11回 小テスト , Unit 9 (Striking a Chord with People) 第12回 小テスト , Unit 10 (Cooking and Working with the Seasons) 第13回 小テスト , Unit 11 (Finding the Right Career Path) 第14回 小テスト , Unit 12 (Sharing Japanese Culture with the World) 第15回 小テスト , Unit 13 (Doing Reasarch with Real-World Impact), 授業アンケート 第16回 期末試験					
(7)成績評価の方法	シャドーイングや Sharing Your Ideasへの取り組み (10%) 小テスト (30%) *30点満点×12回の平均点 期末試験 (40%) TOEIC IPテストのスコア(10%) (評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.018 【上限10%】) 「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%)					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前学習：Key Vocabularyを確認し、Reading Passageの中に知らない語句があれば辞書を引く。 ・事後学習：動画や音声のサイトにアクセスして、シャドーイング練習をする。小テストに備える。 Reallyenglishをコツコツと学習する。					
(10)履修上の注意	・座席表に基づいて教員が出欠を登録するので、各自で確認してください。間違っている場合は、翌週の授業までに連絡すること。 ・遅刻は30分までとします（遅刻三回で欠席一回）。 ・初回授業から教科書を使用します。					
(11)質問、相談への対応	・授業の前後や昼休みに非常勤控室に来ること（水木のみ）。 ・メールでの対応可。メールアドレスは eALPSコース画面に掲載します。					
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみな					

(12)授業への出席	しません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Phoebe Amoroso 他著, Working in Japan - Video Interviews with 14 More Professionals, 978-4-86312-435-6, センゲージラーニング, 2026年, 3000円
【参考書】	指定しない。